

桑名市政記者クラブ資料

表 題 (テーマ)	妊婦等へのコロナワクチン優先接種について		
日 時 (時期)	令和3年9月14日(火) 午前9時30分予約受付開始		
内 容 (特記事項)	<p>妊娠中の方の新型コロナウイルス感染による重症化を予防するとともに母子の命を守るために、妊婦の方などを対象とするコロナワクチン優先接種を実施します。</p> <p>【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市に住民登録がある母子手帳をお持ちの妊婦の方 ・里帰り出産のため桑名市に居住する母子手帳をお持ちの妊婦の方 ・上記妊婦の配偶者、パートナーおよび同居家族(桑名市在住者のみ) <p>【接種会場】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 桑名市総合医療センター (問診は内科医等が行います) ② ヨナハ産婦人科小児科病院 (同病院のかかりつけの妊婦のみ) ③ 妊婦以外はNTN シティホール <p>※配偶者やパートナー等は①②の病院では接種できません。</p> <p>【接種日】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 9月20日(月・祝) 午前120枠 (2回目は10月10日(日)) 9月23日(木・祝) 午前120枠 (2回目は10月16日(土)) ② 9月30日(木) 約100枠 (2回目は10月21日(木)) ③ 9月26日(日) 午前・午後各60枠 (2回目は10月17日(日)) 10月3日(日) 午前・午後各60枠 (2回目は10月24日(日)) <p>【予約受付日時】</p> <p>9月14日(火)～17日(金) いずれも午前9時30分～午後6時</p> <p>※ヨナハ産婦人科小児科病院にかかっている妊婦の方は直接病院にお問い合わせください。</p> <p>【予約方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市総合医療センター又はNTN シティホールで接種する妊婦の方および配偶者等は、桑名市コロナワクチンコールセンター (☎0120-755-105) へ。 ○接種券と母子手帳をご準備の上、お電話ください。 ※ヨナハ産婦人科小児科病院にかかっている妊婦の方は病院で直接予約を取ってください。 		
担当課係名	コロナワクチン接種課	広報担当者	コロナワクチン接種課
担当者		氏 名	課長
電話番号	0594-24-1208	電話番号	0594-24-1208
記者会見有無	有 (無)		
提出日	令和3年9月10日(金)		

桑名市政記者クラブ資料

表 題 (テーマ)	コロナワクチン1回目接種予約受付再開		
日 時 (時期)	令和3年9月17日(金)午後0時30分予約受付開始		
内 容 (特記事項)	<p>新型コロナウイルスワクチンについての1回目接種の予約受付を再開します。</p> <p>依然、ワクチンの供給が少なく見通しが立たない状態ですが、今後、供給に見通しが立ち次第、接種枠の増枠や接種日の追加等を行ってまいります。</p> <p>【接種日・予約枠数】※現時点での確定分 9月24日(金) 夜間：84枠 9月25日(土) 午後：120枠 夜間：120枠 9月26日(日) 午前：60枠 午後：60枠 合計444枠</p> <p>【接種会場】 いずれも NTN シティホール</p> <p>【予約開始日】 9月17日(金) 午後0時30分</p> <p>【予約方法】 1. 専用ウェブ予約サイト(https://jump.mrso.jp/242055/) 2. 桑名市コロナワクチンコールセンター (☎0120-755-105)</p>		
担当課係名 担 当 者 電 話 番 号	コロナワクチン接種課 0594-24-1208	広報担当者 氏 名 電 話 番 号	コロナワクチン接種課 課長 0594-24-1208
記者会見の 有 ・ 無	有 (無)		
提 出 日	令和3年9月10日(金)		

新型コロナウイルス感染症に関する市長メッセージ

桑名市長の伊藤徳字です。

三重県への「緊急事態宣言」の適用が9月30日まで延長されることとなりました。市独自の「感染拡大防止緊急措置」につきましては、「まん延防止等重点措置」適用の早い段階から、「緊急事態宣言」レベルの強力な措置を講じることを目的に発令したものですので、延長は行わず、今後は県の「緊急事態措置」の中で、適切な措置と対策を継続してまいります。

三重県、そして本市の感染状況は、お盆を挟んで急拡大した感染者数が9月に入って徐々に落ち着きつつありますが、相手は新型コロナウイルス、しかも驚異的な感染力を持つデルタ株です。一旦、気を緩めると、8月中下旬で我々が直面した、とてつもない危機が再び訪れます。病床使用率も高く、まだ正念場は続いている、このように考えています。

人口10万人あたりの直近の感染者数は、減ったとはいえ、まだ緊急事態宣言レベル基準、ステージⅣの3倍に及んでいます。しかも、その感染動向を分析いたしますと、市中等での新規感染比率が高く、予断を許しません。さらに入院できない100名以上の自宅療養者の方々が市内に残されています。こうした現況から、急きよ新組織の「自宅療養者等支援プロジェクト」を立ち上げ、自宅療養者のケアや検査体制の充実等の新たな対策に大至急で取り組んでおります。このような状態ですので、まだ1ミリの油断もできない事態が継続しているとお考えいただき、最大級の警戒心を持って、感染予防・感染拡大防止対策を徹底いただくようお願い申し上げます。

こうした中、来週の13日からは、より徹底した感染拡大防止措置を講じた上で、公立小中学校と幼稚園が登校、登園を徐々に再開します。家庭内感染が感染経路の大半を占めている現状から、ご不安、ご懸念を示される方もおられると思いますが、子どもたちの将来に向けた成長を考えますと、学校、園での教育活動はととても大切です。文部科学省からは「学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事や部活動等を含めた教育活動を継続し、子どもの学びを保障していくことが重要である」との方針も示されています。我々といたしましてもしっかりとした対策を取ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、保護者の皆様におかれましては、ご家庭での感染予防対策はもちろんのこと、お子さまやご家族の日々の健康チェックの徹底を強くお願い申し上げます。

さて、私が新型コロナウイルス対策の切り札として強力に進めてきたワクチン接種ですが、残念ながら、国、県からのワクチン供給量が予定を下回り、足踏み状態が続いています。ワクチン未接種の若年層の感染拡大が顕著な中、この現状に私も強く憤っており、特に国の地方に対する姿勢や対応は容認できず、これまでも直接、市の実情を訴えてきてはおりますが、これ以上、市民の皆様をお待たせできません。従前のペースでの接種を続けるのは無理と判断し、桑名医師会と市内医療機関のご協力のもと構築し、「桑名市モデル」と名付けた県内屈指の接種体制の継続は苦渋の想いで断念することといたしました。今後は、ワクチンの供給状況に合わせた集団接種主体の体制へと切り替え、限られた人数分とはなりますが、再開することといたしましたので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、ご要望の多い妊婦等への優先接種につきましても、ワクチン供給の許す範囲で開始いたしますのでお待ちください。

今回のメッセージでも明るい話題の提供ができず恐縮ですが、わずかながら光は見えてきています。このペースで感染者数が減少していけばこれ以上の「緊急事態宣言」の延長はないものと思われますので、社会・経済活動の再開を見越した経済対策等の準備も並行して進めております。市民、事業者等のみなさまにおかれましては、今しばらく耐えていただき、感染予防・感染拡大防止対策の徹底にご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

令和3年9月10日

桑名市長